

渉外委員会

委員長
副委員長

伊藤 佑輔
中野 雄介

1) 基本方針

四日市青年会議所には 70 年の伝統があります。近年は会員数に対する卒業生の比率が増加し、伝統を継承する難易度は上がっていると考えられます。また、委員会構成人数の減少で意見の多様性も過去に比べ減っています。だからこそ、公式事業等の委員会の垣根を越え活動する機会や、先輩方や地域の方々から学びを得る機会はとても大切です。伝統に誇りを持ち、格好良い四日市青年会議所になろうとする姿勢を作り出すことが必要です。

まず、賀詞交歓会では、日頃のご支援への感謝に加え、多様な意見を取り入れるために、積極的に先輩方や地域の方々との交流をします。伝統を学んだ上で、温故知新の精神で今に即した解釈を得ます。そして、他 LOM や規模の違うブロック等と比較して LOM を客観視することで、強みや課題を知ってもらいます。そのために、各会員に意義や楽しみ、学びを周知し公式事業への参加を促進します。四日市の外に出ることで、LOM の立ち位置を知ることが、自分たちに誇りや責任感を持つことを可能にします。なので、参加が叶わなかった会員にも現地での貴重な経験を共有すべく記録を残すことで、一人でも多くの会員が、使命感を持つことにつなげます。さらに、各会員から多種多様な意見が出る交流の場を設えます。四日市青年会議所をもっと良くしたいという同じ目的のもと意見を交え、切磋琢磨することによる個の成長を LOM の成長へとつなげます。また、姉妹締結 40 周年を迎える雨港国際青年商會との交流の中でも互いの歴史を振り返る記念式典、より良い未来を創る調印式を行います。そして、これらの活動を一番身近で支えてくれる方々に感謝の意を示すために、11 月に感謝を伝える例会を実施します。

会員一人ひとりが伝統を知り議論の中で互いに切磋琢磨し、成長します。四日市青年会議所は格好良いと誰もが胸を張って言えた時、今はもちろんのこと未来において、各々が四日市青年会議所をもっと力強くする、かけがえのない道標となることを確信しています。

2) 事業計画

1. 賀詞交歓会1 月 13 日
2. 11 月度例会(家族例会)11 月 23 日
3. 公式事業窓口（京都会議、ASPAC、サマーコンファレンス、東海コンファレンス、三重ブロック大会、全国大会、世界会議）
4. 雨港国際青年商會姉妹締結 40 周年記念式典5 月 14 日
5. 雨港国際青年商會姉妹締結 40 周年調印式5 月 15 日
6. 出向者への支援通年
7. 同好会への支援通年

3) 事業予算

619,000 円

4) 委員会開催予定日

毎月第 2 火曜日

35 2024 年 10 月 10 日（木）第二回正副理事長予定者会議
36 意見 1：L1 どのような伝統ですか？
37 対応 1：四日市青年会議所の伝統と記載
38 意見 2：L1 卒業と入会は繰り返しなので当たり前が出来事と捉えてほしい
39 対応 2：割合という文言を追加しました
40 意見 3：L7 温故知新とはどのような解釈ですか
41 対応 3：古き良き伝統を今に合わせてバージョンアップするという解釈です
42 意見 4：L9 京都会議、サマコン、全国大会に参加することで強みや課題を見つけることが
43 できるのか
44 対応 4：公式事業へと変更した上で、ブロック大会等も含め LOM の強みや課題は目に見え
45 ると思います。
46 意見 5：L10 何故参加推進ができていないと考えるのか、参加推進に対する課題を取り入れ
47 るとよい
48 対応 5：参加推進ができていないとは考えていませんが、100%の参加が理想だと思いま
49 す。課題の中にも、参加の重要性を記載しました。
50 意見 6：L11LOM の立ち位置とはどのように考えるのか
51 対応 6：他 LOM との比較対象による位置づけです。
52 意見 7：L12 いつどこで開催する予定なのか教えてください
53 対応 7：1 回目は 5 月までにルームにて行う予定です
54 意見 8：姉妹締結 40 周年記念式典はしないのか
55 対応 8：日程等まだ確定ではありませんが、年間事業概要に記載しました。
56 意見 9：L17 家族と限定していいのか
57 対応 9：身近な方々と訂正しました
58 意見 10：年間事業内容をもっと詳細に
59 対応 10：詳細に記載しました。